

外部評価を受けて

岐阜女子大学は、今年度、大学機関別認証評価を受審いたしました。受審にあたり、自己点検・評価の取り組みをまとめ、自己点検評価書の作成等を行い、平成 26 年 8 月末に書面調査、10 月に実地調査を受けました。

そこで、優れた点として、一つは、春季・夏季における長期休暇中の学修支援として「年間履修計画表」に基づいた取り組みを行っている点、もう一つは、サテライトキャンパス「文化情報研究センター」が、遠隔教育システムにより他の地域と同時開講を可能とし、公開講座等の種々の活動に活用している点について評価いただきました。

また、参考意見として、いくつかのご指摘をいただきましたが、「改善を要する点」はありませんでした。

このことは、確かな学士力の育成のためさまざまな取り組みを行ってきた本学教職員の教育への情熱と努力によるものと思います。

このような、大学の取り組み、今後の方向性や教育実践・研究内容の評価、さらに努力すべき事項などを、外部から見て評価し、改善するための組織として、平成 21 年度から、外部評価委員会をお願いしました。そして、外部評価委員の皆様からいただいた問題点、指摘を受け、教職員が一丸となって改善に努めてきました。

本年度も、8 名の皆様に外部評価委員をお引き受けいただき、貴重なご意見をいただきました。

外部評価委員の皆様のご意見を真摯に受けとめ、改善を進めていく所存です。

ご多忙の中、本学の評価・改善のために、ご指導いただきました外部評価委員の皆様には、厚くお礼を申し上げます。

平成 27 年 3 月

岐阜女子大学

学長 後藤 忠彦